

資料3

血小板製剤の血漿置換(M-sol 用)

(日本赤十字社北海道ブロック血液センターで使用されている置換血小板の調製法を改変)

1. 用意する原料・資材・試薬



原料 PC



洗浄・置換液(M-sol)
M-sol をアルミ真空パックした場合は、使用前に真空状態を確認する。
(アルミ包装に傷がなく、真空状態が保たれているか)

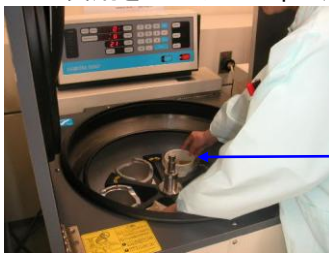
開封後は速やかに使用すること



300mL 分離バッグ

2. 調製法

① PC 製剤を遠心(2930 rpm、10min、22°C)する。



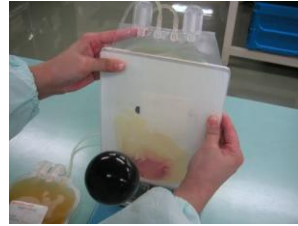
カップに詰め、遠心

② SCD を用いて PC と 300mL 分離バッグを接続する。

③ PC バッグを分離スタンドに挟む。



④ 上清を可能な限り除去する。



上清はほとんど残らない

⑤ SCD を用いて洗浄・置換液と PC バッグを接続し、洗浄・置換液を約 220g(220mL)添加する。



洗浄・置換液 (M-sol)

天秤にバッグをのせ、**風袋を除去**した後、220g 添加する。

⑥ チューブを切り離し、30 分間室温で静置保存する。

⑦ 静置後、30 分間振盪保管する。

30 分振盪しても凝集塊が残っている場合は、凝集塊がなくなるまで振盪を延長する。

⑧ 外観検査をする。

外観検査(凝集塊やスワーリングの有無など)を実施し、異常が無いことを確認する。



⑨ 洗浄後 PC の血算を行う。

⑩ 容量を測定する。

⑪ 洗浄後 PC の血小板回収率を算出する。

* 回収率% = 洗浄後総血小板数 / 洗浄前総血小板数 × 100